

文月に親しむ



「ふみの日」は1979年（昭和54年）に23日が「ふ」「み」と読めることから、当時の郵政省によって定められ、毎月23日に手紙に親しんでもらう活動が展開されています。

特に旧暦の7月は文月（ふみつき）と呼ばれていることもあって、7月23日には記念切手も発売されます。

メールやSNS（ソーシャルネットワークサービス）など、インターネットや電子媒体でのやりとりの機会が増えていますが、手紙の良さも改めて感じてみてはいかがでしょうか。

◆『文豪に学ぶ手紙のことばの選びかた』

中川越／著 東京新聞 2016年

年賀状や暑中見舞い、近況報告など、実際に文豪たちが書き記した様々な手紙を掲載しています。

夏目漱石や芥川龍之介、正岡子規、石川啄木、北原白秋、長谷川かな女、太宰治、志賀直哉なども含まれています。

お祝いや、お礼状、アドバイス、お悔やみなど、文豪たちを参考にしてみてください。



- ◆ 『切手もの知り Book [正]
—収集を楽しむ40話—』
田辺龍太／著 日本郵趣出版（制作）2019年

「切手は小さな芸術品」といわれてきました。
年賀切手やふるさと切手、グリーティング切手などの種類が
紹介されています。
他にシール式切手や、切手の印刷方法、収集に役立つ用品など
ガイドブックの要素を散りばめています。
筆者のコラムや評論も含めて知識がプラスされますよ。



- ◆ 『肉筆で読む作家の手紙』
青木正美／著 本の雑誌社 2016年
- ◆ 『氷川の社を訪ねて—古絵葉書集—』
氷川神社／監修 氷川神社 2020年
- ◆ 『絵手紙に添えたいことば』
日本絵手紙協会／監修 成美堂出版 2023年
- ◆ 『サンタへの手紙—1870年から1920年までに子どもたちが書いた
クリスマスの手紙と欲しいリスト—』
メアリー・ハレル＝セスニアック／選 カヒミ カリィ／手紙訳 2016年
- ◆ 『江戸のうんちく道中—東海道五拾三次—』
（切手ビジュアルトラベル・シリーズ）
稲垣進一／著 日本郵趣出版 2019年



編集・発行：さいたま市立与野図書館
さいたま市中央区下落合 5-11-11
TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946

2024年（令和6）7月発行